

混和会とは、共に許し合いながら、他の人格を尊重し、共に生きる和の構築を目指す集いです。

ほとけの 混和会だより

令和三年四月

東光院

仏の混和会

臨時号

新型コロナウイルス、なかなか収束のきざしが見えて参りません。このような状況下でありませんが、くれぐれもご自愛下さり申すよう、ご健勝心よりお祈り申し上げます。

勢至菩薩様を 御奉納賜りました

この度、印西市木下東の成田正明様より自ら鑿を奮った自作の勢至菩薩様を御奉納賜りました。

爰にご報告申し上げます。誠に謹み御礼申し上げます。菩薩様は、如来様の行いや御心を学び、何時も人々の幸を念じ、共に寄り添って下さる最も身近に居て下さる仏様であったり、時には人であったりします。



勢至菩薩

菩薩様は人々の迷える心に応じて、様々な姿でこの世に出現して下さいます。

たとえば、争いや苦しみの、この迷いの境地である六道の世界に自ら飛び込み共に嘆き悲しみながら救い導いて下さる六人の「地藏菩薩様」そして慈悲の御心で救い導いて下さる「観世音菩薩様」更に御仏の智慧を持って導いて下さる「勢至菩薩様」と様々です。

私達は己自身の心に固執し、自ら迷いや苦しみを招いて居る事が多々有ります。このような時、物事に何のとりわれも執着も無い、如実にあるがままに見きわめる御仏の智慧を持って導いて下さる方が勢至菩薩様です。私達も仏様の慈悲や智慧をまねて、自ら菩薩として

歩めるよう努めたいと存じます。

合掌
亮観拝



● 東日本大震災慰霊法要



三月十一日（木）東日本大震災から十年を迎える、北総教区内の有志者にて慰霊法要並びに被災地早期復興を祈願した法要が執り行われました。

午後一時より、匝瑳市如来寺にて追悼法要を厳修。その後千葉県内で唯一津波被害に遭った旭市飯岡地区の海岸へ移動し、震災発生時刻午後二時四十分には向かい慰霊供養を営みました。

私自身、ここ何年か他宗派の方々と共に宗派の垣根を越え、全国各地にて震災追悼行事に参加させて頂いている縁もあり、今回の法要に参列し犠牲者の冥福と、被災者の方々の安寧を祈り、掌を合しました。



実際個人に限られませんが

災の記憶を忘れない。風化させない。と言う事も大切だと遺族の方のお話を聞く度に感じます。

改めて心よりお祈り申し上げます。

● 四月八日は花まつり
見えない驚異と隣り合わせの日々。命の大切さ、有難さを想い誕生仏にお参り致しました。

哀しいことに本年度もお釈迦様の誕生を祝う「花まつり」を開催することが出来ませんでした。

生誕（命の尊さ）を祝う場が起きてしまったのは皆様にもお釈迦様にも顔向けできません。

イベントは中止となりましたが、お釈迦様の説かれた「命の尊さ」について、代わりの利かない大切な命と健康と安全を護る為には今どうしたら良いのか。今一度日々の行動を見直してみるのも良いかも知れませんね。共に乗り越えましょう。



亮澄拝